


市長のタウンミーティング 経田地区

(敬称略)



開催日時 令和元年11月29日(金) 19:00～21:00
 会場 経田公民館
 参加人数 49名

開会挨拶 経田地区振興協議会長 野村 博
 書記 高瀬 大樹

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	経田	財政健全化	財政難について説明いただいたが、水道料金など、徴収しなければならないところを全て回収できているのか。未収や延滞はこれまでもあり、過去に担当職員にいただいたこともある。職員の力不足もあるように思う。公のお金であり、未回収のものは厳しく説得・徴収していくことが重要。市長から職員をその気にさせるように指導してほしい。
2	経田	企業誘致	以前、高岡市長とゲームで対戦をしておられたのを拝見した。ゲーム産業誘致に積極的に取り組む姿勢は素晴らしく、もっと本格的に力強く打ち出しても良いと思う。専門学校との連携についても「魚津に専門学校を作るなら全部市からお金を出す」くらいの勢いでやっていただきたい。全国からゲーム人材を魚津に集めて、産業として根付かせてもらいたい。
3	経田	まちづくり	下水道の整備が満足度1位という話があったが、経田としては納得いかない。経田はいつになれば整備されるのか。デイサービスや汲み取り、訪問入浴などの車がいまだに入らなれない現状もある。空き家を一件動かせば車が入られるようになる場所も数か所ある。10年、20年の内にと期待していた区画整理も現状では難しくなっている。国の補助がないからできないのかもしれないが、なんとかお願いしたい。
4	経田	企業誘致	人口減少と収入の減少は比例している。逆に考えれば収入を増やせば人口も増えると感じている。収入増のためには健全で安心して働ける勤め先を増やすことが重要。経田は大きな会社が無いが、小さい会社を大事にし、市長の施策でアピールしていただければありがたい。
5	経田	公共施設	百楽荘と経田福祉センターの2施設について、活用をしていくのか解体してしまうのかなど、今後の展望についてお聞きした。市老連としても生涯学習をどうしていくか考えていかななくてはならない。
6	経田	地域振興	経田コミュニティカフェについて、地区としては実施のハードルを少しでも下げるため維持管理費について市で3年間ほどもっていただけるとありがたい。地区の方達にもアンケート結果や経田だより等を見ていただき、取り組みについて知ってもらいたいと思う。
7	経田	河川整備	7月頃は毎年警戒水域間際になっている現状であり大雨が降ると下流地域は生きた心地がしない。片貝川はダムも無く自然任せの状態、県にもお願いしているが、国の事業を活用するなどしてなんとか強靱化をお願いしたい。毎年避難所開設ということも問題なので、経田をモデル地域にするなどして対応していただければと思う。橋が通るという話もあるのでその前をお願いしたい。
8	経田	まちづくり	除雪車が通ると車庫の前に雪が積もる。除雪をしていただけるのはありがたく、多少はしょうがないとも感じているが、圧雪になったものを置いて行かれると出入りが出来なくなってしまいさすがに困る。柔らかい状態ならばどかすことは可能だが、圧雪の状態のものは難しい。他の地区で、作業員が一人除雪車の後ろからついていき、家の間口を開けていっているのを見たことがある。これを経田でもやってもらえるとありがたい。

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	経田地区	日時	11月29日(金) 19時00分より 21時00分まで		参加者数	49名
会場名	経田公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	地域協働課 高瀬 大樹	
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか	地区からの 主な参加者	地区振興協議会長、各種団体関係者ほか			

1. あいさつ

経田地区振興協議会 会長 野村 博

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・子育て支援
 - ・教育環境の充実
 - ・観光振興
 - ・産業振興
 - ・魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・移住・定住の促進
 - ・健康づくりの推進
 - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

○水道料金等の徴収について

財政難について説明いただいたが、水道料金など、徴収しなければならないところを全て回収できているのか。未収や延滞はこれまでもあり、過去に担当職員に問いただしたこともある。職員の力不足もあるように思う。公のお金であり、未回収のものは厳しく説得・徴収していくことが重要。市長から職員をその気にさせるように指導してほしい。

（村椿市長）

税金に関しては県と協力し、「滞納にならない」「なりそうな案件は効果的に対応する」などを徹底してやっています。9月からの3ヶ月は、県のベテラン職員2名と一緒に実施しており、知識的な向上や、それに基づいた説得力向上等の効果も市職員に出ています。知識を基にした公平な債権回収は重要であることから、水道料金など税以外でも使用料等は徹底してやっていきたいと思っています。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○ゲーム事業について

以前、高岡市長とゲームで対戦をしておられたのを拝見した。ゲーム産業誘致に積極的に取り組む姿勢は素晴らしく、もっと本格的に力強く打ち出しても良いと思う。専門学校との連携についても「魚津に専門学校を作るなら全部市からお金を出す」くらいの勢いでやっていただきたい。全国からゲーム人材を魚津に集めて、産業として根付かせてもらいたい。

（村椿市長）

特色を打ち出し吸引力を高めることが重要です。産業的にゲームを根付かせたいと考えており、アピールするきっかけを県や他の地域との連携も引き続き考えていきたいと思っています。

○下水道の整備、道路の拡張について

市民意識調査で、下水道の整備が満足度1位という話があったが、経田としては納得いかない。経田はいつになれば整備されるのか。現在生きている人が恩恵を受けられるようにしてほしい。

デイサービスや汲み取り、訪問入浴などの車がいまだに入って来られない現状もある。空き家を一件動かせば車が入られるようになる場所も数か所ある。10年、20年の内にと期待していた区画整理も現状では難しくなっている。国の補助がないからできないのかもしれないが、なんとかお願いしたい。

（村椿市長）

就任時からずっと話は伺っていて、国交省にも毎年何度も事情説明しています。ネックになっているのは地籍の問題です。全体の予算が厳しい中ではありますが、生活環境に係ることなので早急に対応していきたいと思っています。地籍の問題が解決すれば、空き家の問題も対応しやすくなり、それが突破口にもなります。補助が無いから無理でできないとはせず、早いタイミングでの実現を模索していきたいと思っていますので待っていてもらいたい。

○健全な勤め先の増加について

人口減少と収入の減少は比例している。逆に考えれば収入を増やせば人口も増えると感じている。収入増のためには健全で安心して働ける勤め先を増やすことが重要。経田は大きな会社が無いが、小さい会社を大事にし、市長の施策でアピールしていただければありがたい。

(村椿市長)

小さい企業であっても、技術を高めたり、AIを活用したりすることで付加価値を高めることが可能です。ただ、それらを自前で行うことが難しい企業もあります。そういった方達を対象に、技術を身に着けるセミナー等を地道に開催していくことも必要だと考えています。

既存の建物をどう活用していくのも重要です。システムデザインや外国人観光客を対象とした施設など、今までにない分野での取り組みも必要があります。

昔のように大きな企業だけが重要な時代ではありません。特色ある事業所を見つける、又は育て、面白い事業所が多くある町を目指していきたいと思います。

○百楽荘、経田福祉センターの今後について

百楽荘と経田福祉センターの2施設について、活用をしていくのか解体してしまうのかなど、今後の展望についてお聞きした。市老連としても生涯学習をどうしていくか考えていかななくてはならない。

(村椿市長)

百楽荘については、社会福祉協議会の事務所として施設は残っています。今のところ、すぐには解体の予定はありませんが、どこまで、どのように活用をしていくのかは現在検討中となります。

(民生部長)

現在は、市老連と社会福祉協議会の事務局が入っています。1階部分で実施していた介護予防等の事業については、バスも止まらないなど、利用者の利便性が低いことから、別の場所への移動を考えています。事務所自体はこのままの予定となっていますが、地域福祉関係の事業等の兼ね合いもあるため、どこまで利用していくか社会福祉協議会等と協議していきたいと思います。方針についての決定事項は関係団体に周知をしていきたいとかがえています。

○コミュニティカフェについて

先日の地区要望でもお伝えさせていただいたが、地区としては実施のハードルを少しでも下げるため、維持管理費について市で3年間ほどもっていただけるとありがたい。地区の方達にもアンケート結果や経田だより等を見ていただき、取り組みについて知ってもらいたいと思う。

(村椿市長)

コミュニティカフェの整備に関しては、地域の取り組みや環境整備について応援していきたいという気持ちはあります。ただ、具体の部分についてはまずは検討をさせていただきたいと思います。

○片貝川の防災について

経田は去年・今年と避難所を2回開設している。7月頃は毎年警戒水域間際になっている現状であり、大雨が降ると下流地域は生きた心地がしない。片貝川はダムも無く自然任せの状態、県にもお願いしているが、国の事業を活用するなどしてなんとか強靱化をお願いしたい。

毎年避難所開設ということになるのも問題なので、経田をモデル地域にするなどして対応していただければと思う。橋が通るという話もあるので、その前にお願いしたい。

(村椿市長)

河川の災害対応については、全国どこの自治体も同じ状況にあります。国ではなく地域の河川が危なくなっている中、今後も新しい国の補助メニュー等も出てくると考えられるので、国・県と連携しながら進めていきたいと思えます。

○除雪時の対応について

除雪車が通ると車庫の前に雪が積もる。除雪をしていただけるのはありがたく、多少はしょうがないとも感じているが、圧雪になったものを置いて行かれると出入りが出来なくなってしまうさすがに困る。柔らかい状態ならばどかすことは可能だが、圧雪の状態のものは難しい。他の地区で、作業員が一人除雪車の後ろからついていき、家の間口部を開けていっているのを見たことがある。これを経田でもやってもらえるとありがたい。

(産業建設部長)

除雪は各業者が広い地域を受け持つことになります。降雪の時間や除雪のルートの関係で、除雪実施時にすでに圧雪状態となってしまう地域もあります。家の前に積もってしまうこともあり申し訳ないこともあります。オペレーターも頑張っているのご理解いただきたい。作業員の件に関しては、市内で圧雪を除く時に輸送の車も併せて動員し、交通誘導の職員を付けることはありますが、家の前を開けることはしていません。

(副市長)

除雪車の入っていない地域もあり、通学路等の関係もあります。地域ぐるみでご協力いただくと助かります。家から出られずに命の危険等がある場合は、市の社会福祉課へ連絡いただければとも思えます。すぐに何とかできるかは分かりませんが、対応していきたいと思えます。